

身を守るのは自分自身の責任です。

安全な海外旅行のヒント

◆海外安全ホームページをチェック!

予習が大切。あなたの行く国はどんな国? どんなことに注意すべき?

◆海外安全情報メール配信サービス「たびレジ」に登録!

急な事件・事故にも対応できるように、いつでもどこでも最新の情報をお手元に。

◆意識を海外モードに!

海外では日本と違った危険が待ち構えています。いつも以上に慎重な行動を。

国際マナー、各国のルールを守りましょう

- 旅先では、その国の宗教、風俗、習慣を尊重し礼節を持って接しましょう。日本的な考え方を押しつけるのは禁物です。
- 空港、機内、ホテル、見学箇所等は公共の場です。他人に迷惑をかけないよう、節度ある行動を心がけましょう。
- 主なポイント
 - 喫煙と禁煙
 - 大声を出さない
 - 写真撮影(禁止場所)
 - 禁酒場所/酒乱行為
 - 薬物行為

出発前に、情報チェック・旅行中は、トラブルに注意

- 海外安全に関するお問い合わせは…
外務省領事局 領事サービスセンター(海外安全相談班)
TEL 03-3580-3311(代)内線2902
03-5501-8162(直)
(土日祝を除く 9:00~12:30、13:30~17:00)

- 海外安全情報は…
外務省 海外安全ホームページ
<http://www.anzen.mofa.go.jp/>



- たびレジ(旅行先情報を登録すると、いざという時、緊急情報提供を受けられるシステム)
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>



- 感染症の流行情報や予防方法などは…
厚生労働省検疫所「FORTH海外で健康に過ごすために」
<http://www.forth.go.jp/>

海外旅行保険に加入をしましょう

- どんなに準備をしても事故・事件に巻き込まれないとは限りません。健康に自信があっても、日本と違う環境でのストレスや疲労により、思いがけない病気にかかる可能性もあります。また、列車やバスなどの交通事故にいつどこで巻き込まれるかわかりません。
- 海外で入院・手術などが必要となった場合には、日本の健康保険を利用することができないため、医療費が非常に高額になる事例が多いことも承知しておく必要があります。医療施設・水準が十分でない国では、国外への緊急移送が必要となる場合があります。
- このため、海外旅行保険に必ず加入し、家族にも補償等の内容を伝えておくことをお勧めします。
- 海外旅行保険に加入すると、貴重品の盗難や遺失時の対価、事故や病気の際の医療費や移送費などが補償されるほか、保険会社によっては、家族の渡航費負担や通訳の手配サービス、緊急キャッシングサービスなども盛り込んでいます。なお、クレジットカードには、海外旅行保険特約の付いたものもありますが、補償の限度額やサービスの範囲はカードにより様々ですので、保険内容をしっかりと確認し、可能な限り充実した保険に加入することをお勧めします。

——— 事故発生率 28人に1人 ———

某保険会社のデータでは、2015年度は「28人に1人」が何らかの事故・病気等に遭われ海外旅行保険を利用しています。

例1:(アメリカで)空港到着後、呼吸困難を訴え救急車で搬送。49日間入院・手術。家族が駆けつける。9355万円

例2:(メキシコで)海に飛び込んだ際に頸椎を骨折。11日間入院・手術。医師・看護師が付き添いチャーター機で医療搬送。(保険金額不足/別途自己負担あり)……2000万円